

資料No.4

総務文教常任委員会所管事務報告資料  
平成28年 5月25日【企画振興部企画・広報課】

# 女性の就労意識アンケート調査報告書

## 概要版

平成28年3月

恵庭市

# 目次

1. 調査の実施概要 .....	1
1.1 調査の実施概要 .....	1
(1) 調査の実施概要 .....	1
(2) 市民意識調査の対象 .....	1
(3) 配布・回収について .....	1
1.2 アンケート調査票 .....	1
2. 調査結果の分析 .....	4
2.1 回答者の属性について .....	4
(1) Q1. 年齢 .....	4
(2) Q2. 現在働いているか、及び働いている場合の勤務形態 .....	4
(3) Q8. 同居する子どもについて .....	5
(4) Q9. 配偶者の就労状況について .....	7
2.2 今後の就労意向について .....	11
(1) Q3. 今後の就業意向 .....	11
(2) Q4. 現在働いておらず、今後も働く予定のない理由 .....	12
(3) Q5. 現在働いていない方が、今後働くための条件や理由 .....	13
(4) Q6. 現在働いている方が、今後も働き続ける理由 .....	15
(5) Q7. 現在働いている方が、今後仕事を辞める予定がある理由 .....	17

# 1. 調査の実施概要

## 1.1 調査の実施概要

### (1) 調査の実施概要

今後、働く世代の人口減少が見込まれる中、女性の就労意識について調査・分析し、いきいきと働きやすいまちづくりを目指すことを目的として実施する。

### (2) 市民意識調査の対象

市内在住の18歳から65歳までの女性の中から、無作為に2,000人の方を選び実施した。なお、うち3名は所在不明で差し戻しがあったため、実質、1,997人が対象である。

### (3) 配布・回収について

#### ① 配布・回収の方法

郵送による配布・回収。

#### ② 調査期間

平成28年1月26日(火)～3月9日(水)

#### ③ 回収状況

平成28年3月9日(水)現在、970票(回収率48.6%)

## 1.2 アンケート調査票

配布したアンケートは次ページ以降に示すとおりである。

## ◆ 「女性の就労意識アンケート調査」調査票

※回答にあたっては、該当欄にご記入いただくか、該当項目の番号に○をつけてください。

Q1. あなたの年齢をご記入ください。(平成28年1月31日現在)(○は1つだけ)

- A1. 1. 18歳～24歳 2. 25歳～29歳 3. 30歳～34歳 4. 35歳～39歳  
5. 40歳～44歳 6. 45歳～49歳 7. 50歳～54歳 8. 55歳～59歳 9. 60歳～65歳

Q2. あなたは現在、働いていますか。

また働いている場合は、その勤務形態についてお聞きします。(○は1つだけ)

- A2. 1. 働いていない  
2. 正規雇用で働いている(自営業も含む)  
3. パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている(一日当り \_\_\_\_\_ 時間勤務)  
4. パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている(一週当り \_\_\_\_\_ 時間勤務)

Q3. あなたの今後についてお聞きします。(○は1つだけ)

- A3. 1. 現在働いていないし、今後も働く予定はない = Q4^  
2. 現在働いていないが、条件等が合えば働きたい = Q5^  
3. 現在働いていて、今後も働き続ける = Q6^  
4. 現在働いているが、今後仕事をやめる予定である = Q7^  
5. その他( \_\_\_\_\_ ) = Q8・Q9^

Q4. 現在も、今後も働く予定がない理由についてお聞きします。(○は3つまで)

- A4. 1. 健康、体力面で不安 2. 子育てに専念したい 3. 家族の介護や看護  
4. 通勤のための交通手段がない 5. 配偶者(夫)が望まない 6. 親が望まない  
7. 経済的に働く必要がない 8. 仕事が見つからない 9. 人間関係がわずらわしい  
10. 保育施設など、子どもを預ける所がない 11. 配偶者(夫)の現在の賃金水準に満足  
12. パートやアルバイトでは不満(正規職員の雇用が少ない)  
13. 希望する賃金でない(希望賃金～時間当たり \_\_\_\_\_ 円)  
14. 希望する業種がない(希望する業種 \_\_\_\_\_ )  
15. その他( \_\_\_\_\_ ) = Q8・Q9^

Q5. 現在働いていない方へ、今後、働くための条件や理由についてお聞きします。(○は3つまで)

- A5. 1. 健康、体力面が回復すること 2. 子育てが一段落すること(中学校入学など)  
3. 家族の介護や看護など家族見守り支援等 4. 経済的理由で働く必要があること  
5. 配偶者(夫)の理解が得られること 6. 親の理解が得られること  
7. 勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること  
8. 通勤手当や勤務会社の送迎、その他交通手段の確保  
9. 仕事のブランクや仕事のスキルをつける復職支援  
10. パートやアルバイトより正規職員であることなど待遇、身分の改善  
11. 休日や急な休みなど、必要なときに休める体制  
12. 希望する賃金になること(希望賃金～時間当たり \_\_\_\_\_ 円)  
13. 勤務時間や時間帯(希望勤務時間 \_\_\_\_\_ 時間、時間帯 \_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ 時まで)  
14. 希望する業種が見つかること(業種 \_\_\_\_\_ )  
15. その他( \_\_\_\_\_ ) = Q8・Q9^

Q6. 現在働いていて、今後も働き続ける理由についてお聞きします。(〇は3つまで)

- A6.
1. 健康、体力面に良いから
  2. 経済的理由で働く必要があるから
  3. 勤務会社の職場の雰囲気が良いから
  4. 勤務会社から正当な評価を得られているから
  5. 勤務会社による通勤費手当などがあるから
  6. 勤務会社による通勤時の車両送迎があるから
  7. 仕事が好き、やりがいがあるから
  8. 社会とのつながり、交流のため
  9. 必要なときに休める体制があるから
  10. 希望する賃金だから(時間当たり\_\_\_\_\_円)
  11. 保育施設や勤務会社などで、子どもの預かりなどがあるから
  12. 仕事と家事、育児が両立しやすいから(業種\_\_\_\_\_)
  13. 希望する職種だから(次から選ぶ～アルバイトやパート、正規職員、その他)
  14. 希望する業種だから(業種\_\_\_\_\_)
  15. その他(\_\_\_\_\_)
- Q8・Q9へ

Q7. 現在働いているが、今後仕事を辞める予定がある理由についてお聞きします。(〇は3つまで)

- A7.
1. 健康、体力面で不安
  2. 結婚のため
  3. 出産のため
  4. 子育てに専念したい
  5. 配偶者(夫)が望まない
  6. 親が望まない
  7. 経済的理由がなくなったため
  8. 家族の介護や看護
  9. 人間関係がわずらわしい
  10. 家族の転勤のため
  11. 賃金に不満がある
  12. 仕事内容に不満がある
  13. 子どもを預けることができないため
  14. 通勤手当や送迎など交通条件がよくないため
  15. 賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため
  16. 勤務先の都合(雇い止め、退職を勧められたなど)
  17. 勤務時間や時間帯に不満(勤務時間\_\_\_\_\_時間、時間帯\_\_\_\_\_から\_\_\_\_\_時まで)
  18. その他(\_\_\_\_\_)
- Q8・Q9へ

Q8. 同居のお子様がいいらっしゃる方にお聞きします。お子様は何人いらっしゃいますか。  
また、お子様の学年等(未就児は年齢)を全てご記入ください。

A8.

	記入例	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目
人	社会人、小3、 年中、3歳など					

Q9. 配偶者(夫)がいいらっしゃる方にお聞きします。

配偶者(夫)の就労状況はどのようになっていますか?(〇はそれぞれ1つずつ)

※帰宅時間は、直近1年間の平均でお答えください。

- A9.
- I 就労状況 1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. その他(\_\_\_\_\_)
- II 勤務形態 1. 日勤のみ 2. 夜勤のみ 3. 交代勤務 4. フレックスタイム制  
5. その他(\_\_\_\_\_)
- III 帰宅時間(24時間表記で記入してください。例:夜7時 ⇒ 19時)  
(日勤の場合) ⇒ 平均\_\_\_\_\_時頃 (夜勤の場合) ⇒ 平均\_\_\_\_\_時頃
- IV 休日 (あてはまるもの全てに〇印をつけてください。例: 月・火・水・木・金・土・日・祝日・決まっていない・その他(\_\_\_\_\_))

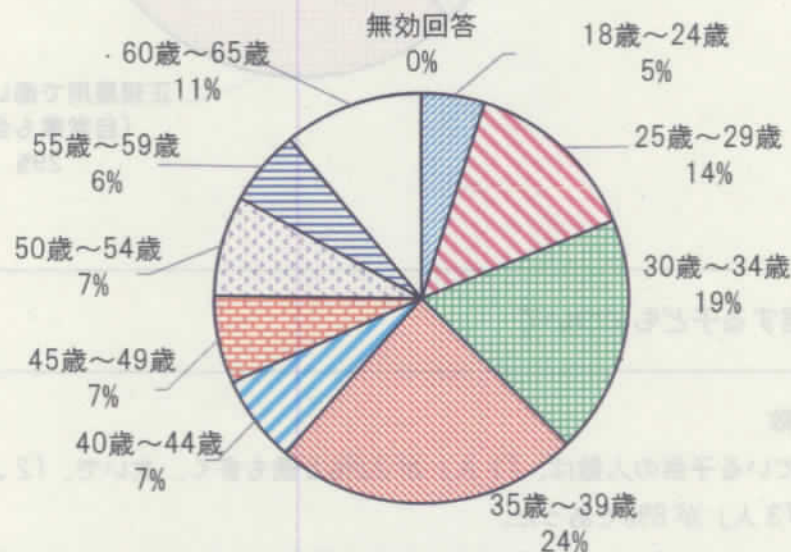
以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。  
同封の返送用封筒に入れて切手を貼らずに2月19日(金)までに投函願います。

## 2. 調査結果の分析

### 2.1 回答者の属性について

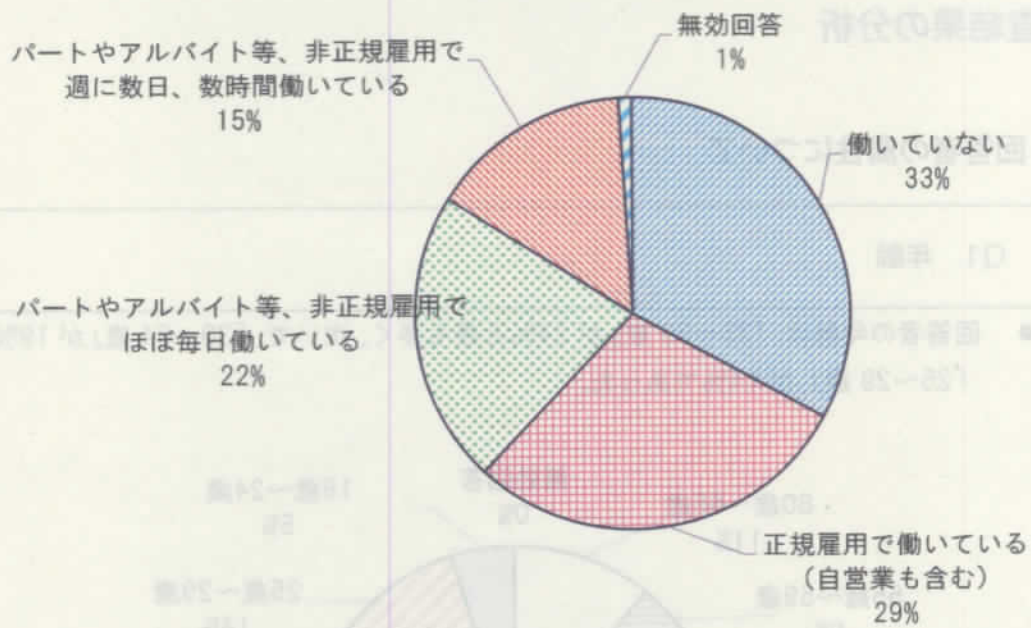
#### (1) Q1. 年齢

- 回答者の年齢は、「35～39歳」が24%と最も多く、次いで、「30～34歳」が19%、「25～29歳」が14%であった。



#### (2) Q2. 現在働いているか、及び働いている場合の勤務形態

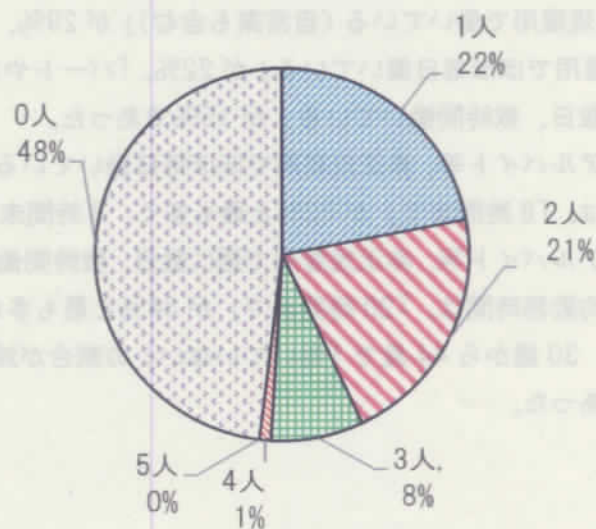
- 「働いていない」が最も多く、33%であった。
- 次いで、「正規雇用で働いている（自営業も含む）」が29%、「パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている」が22%、「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」が15%であった。
- 「パートやアルバイト等、非正規雇用でほぼ毎日働いている」方の、1日当たり平均勤務時間は、「8時間まで」が32%と最も多く、8時間未満が多かった。
- 「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」方の、1週間当たり平均勤務時間は、「20時間まで」が34%と最も多かった。
- 年齢別には、30歳から44歳で「働いていない」の割合が減少し、45歳以上では増加傾向であった。



### (3) Q8. 同居する子どもについて

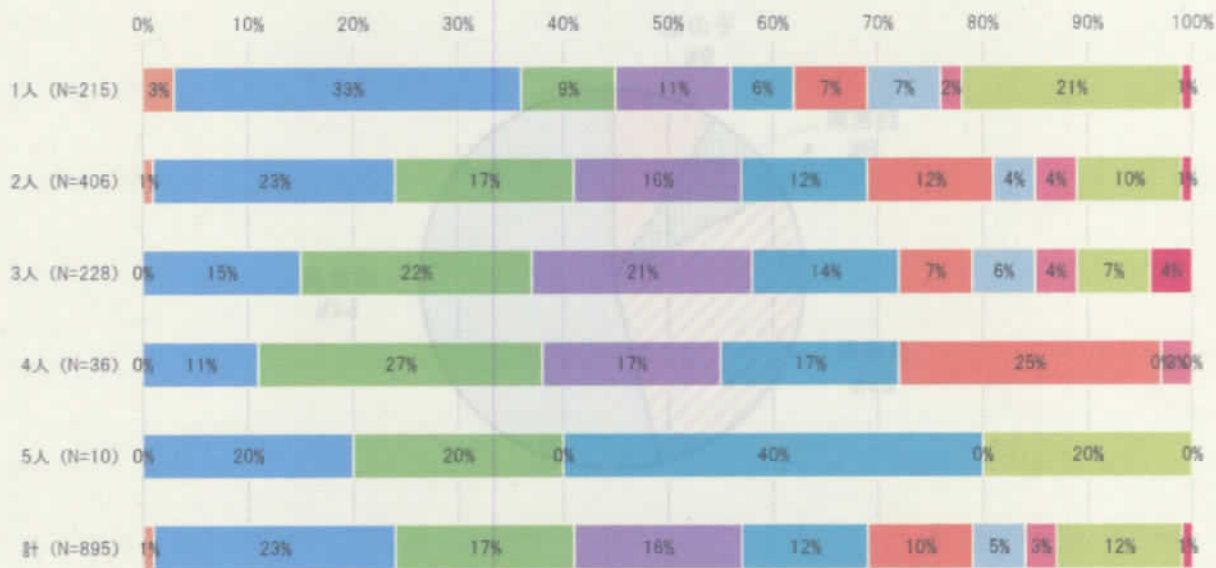
#### ① 子どもの数

- 同居している子供の人数は、「1人」が22%と最も多く、次いで、「2人」が21%、「3人」が8%であった。
- 年齢別には、30歳から49歳では、子供の同居が60%以上であり、「35歳～39歳」で同居する子供の割合が最も多く、73%であった。
- 現在の就労状況別には、「パートやアルバイト等、非正規雇用で週に数日、数時間働いている」が1人以上、子供がいる割合が66%と最も多く、「正規雇用で働いている」が42%と最も少ない。

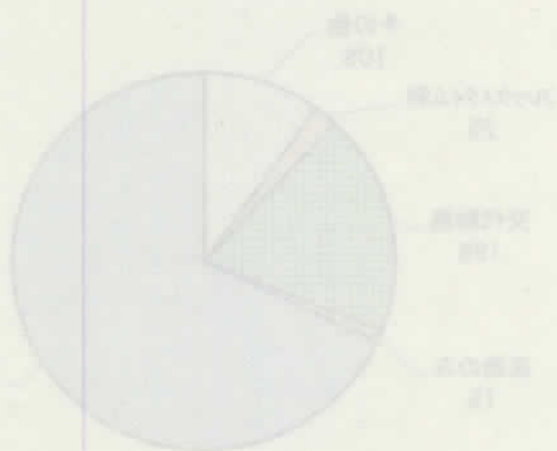


## ② 子どもの学年

- 未就学児の年次（0～3歳）、未就学児の年次（4～6歳）の子どもを持つ回答者が多かった。
- 子供がいる回答者の一番下の子どもの学年は、「未就学児の年次（0～3歳）」が33%と最も多く、次いで、「未就学児の年次（4～6歳）」が15%、「小学校低学年年次（小1～小3）」が14%であった。
- 現在の就労状況別には、「働いていない」「正規雇用で働いている」では未就学児の年次（0～3歳）の割合が48%、38%と最も多かった。



- 出産予定
- 小学校低学年年次（小1～小3）
- 高校年次（高1～高3）
- 不明
- 未就学児の年次（0～3歳）
- 小学校高学年年次（小4～小6）
- 大学、大学院、専門学校等の年次
- 社会人（無職を含む）
- 未就学児の年次（4～6歳）
- 中学校年次（中1～中3）

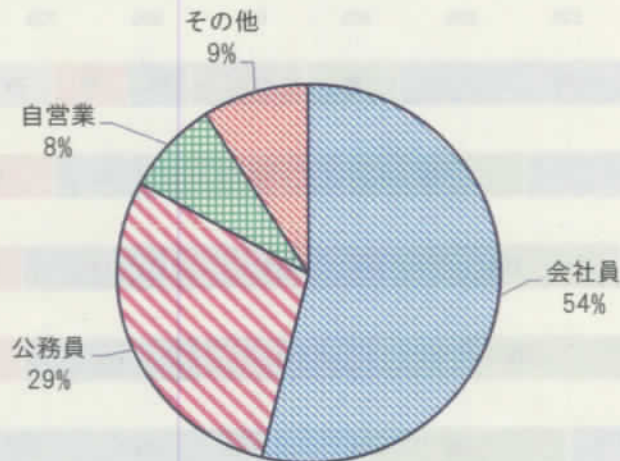




(4) Q9. 配偶者の就労状況について

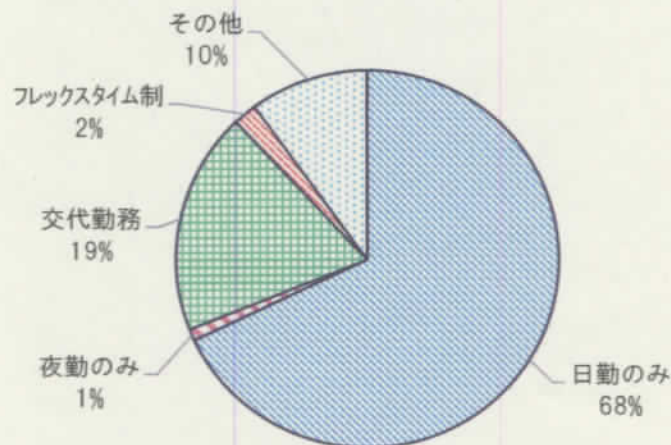
① Q9-I. 配偶者（夫）の就労状況について

- 「会社員」が54%と最も多く、次いで、「公務員」が29%であった。
- 年齢別には、「会社員」は39歳から年齢が上がるとともに割合が減少し、「公務員」は49歳から減少の割合が大きかった。
- 現在の就労状況別には、「正規雇用で働いている」は、自営業が17%と他の就労状況の約2倍以上であった。



② Q9-II. 配偶者（夫）の勤務形態について

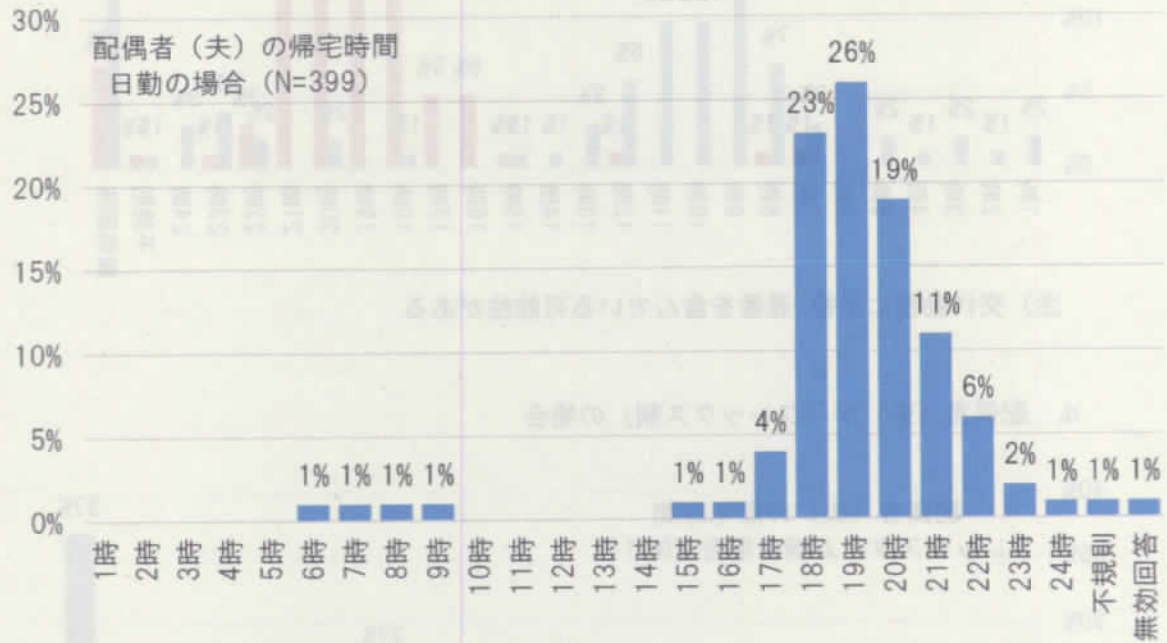
- 「日勤のみ」が68%と最も多く、次いで、「交代勤務」が19%であった。
- 年齢別には、「日勤のみ」が全ての年代で半数以上であり、「50歳～54歳」が最も多く、83%であった。
- 現在の就労状況別には、就労状況による大きな差はみられなかった。



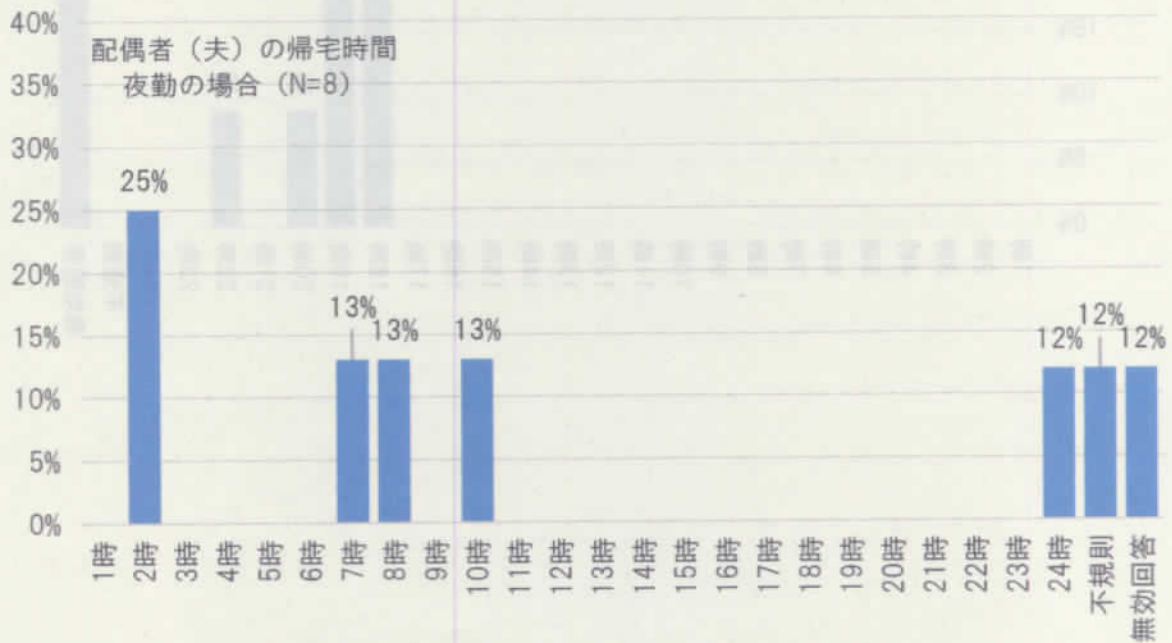
③ Q9-Ⅲ. 配偶者（夫）の帰宅時間について

- 「日勤のみ」の場合、18～20 時頃が多かった。
- 「夜勤のみ」の場合、2 時頃が多かった。
- 「交代勤務」の場合、日勤では 18～19 時頃、夜勤では 9 時頃が多かった。
- 「フレックスタイム制」の場合、18～19 時頃が多かった。

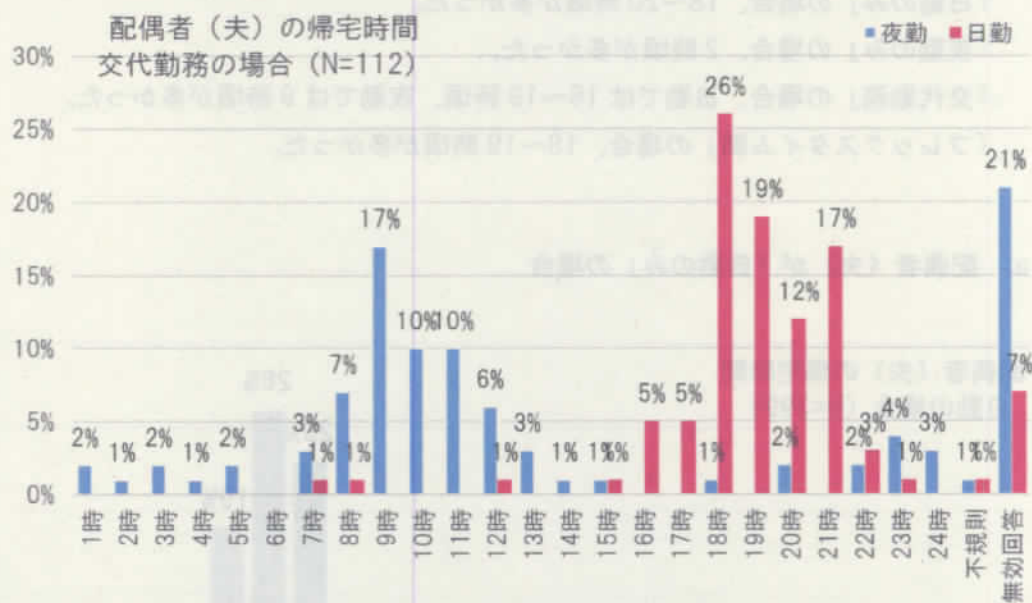
a. 配偶者（夫）が「日勤のみ」の場合



b. 配偶者（夫）が「夜勤のみ」の場合

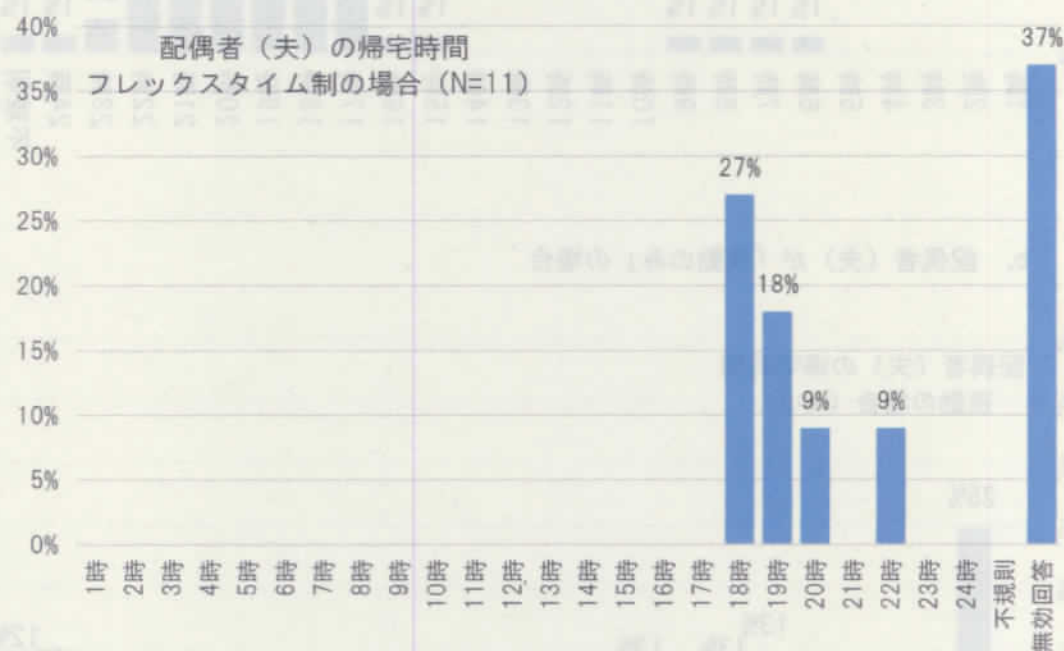


c. 配偶者（夫）が「交代勤務」の場合



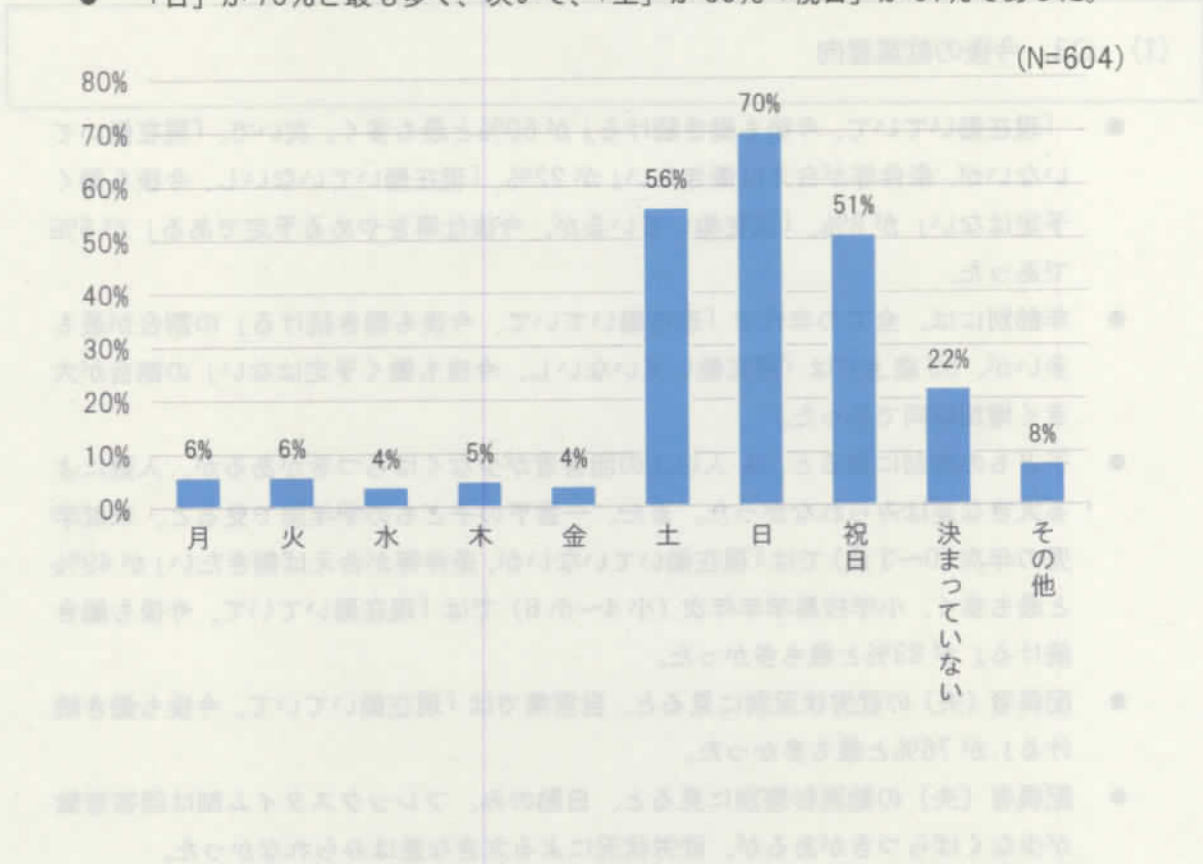
注) 交代勤務に早番/遅番を含んでいる可能性がある

d. 配偶者（夫）が「フレックス制」の場合



④ Q9-IV. 配偶者（夫）の休日について

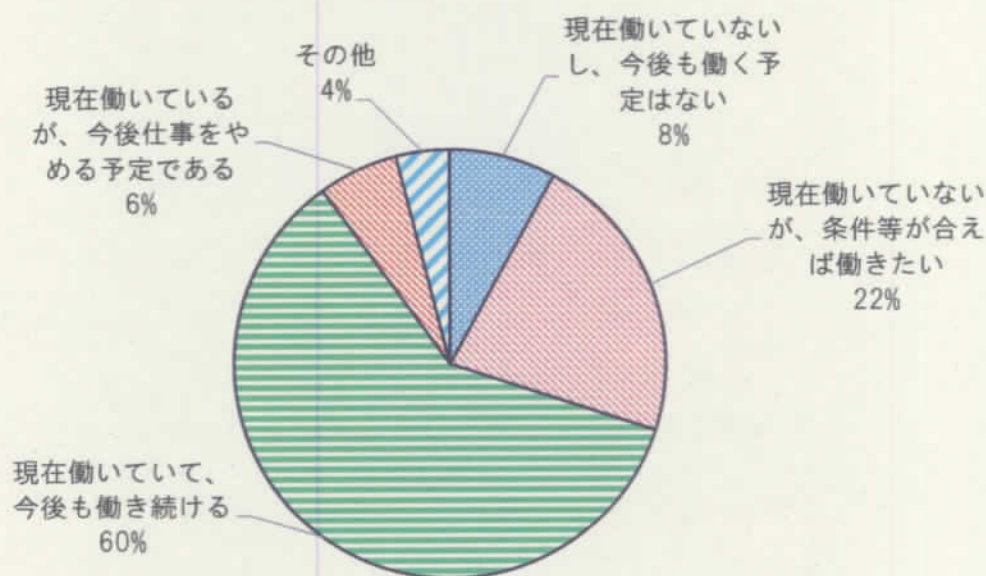
- 「日」が70%と最も多く、次いで、「土」が56%「祝日」が51%であった。



## 2.2 今後の就労意向について

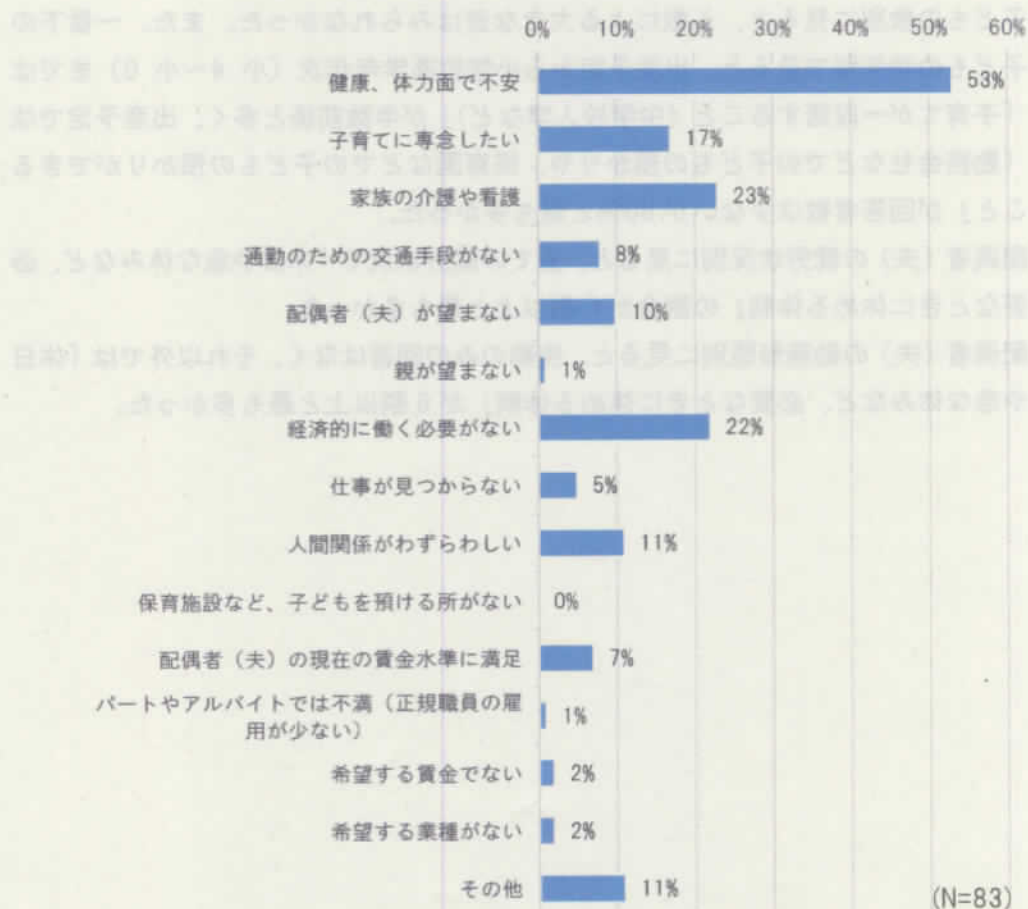
### (1) Q3. 今後の就業意向

- 「現在働いていて、今後も働き続ける」が60%と最も多く、次いで、「現在働いていないが、条件等が合えば働きたい」が22%、「現在働いていないし、今後も働く予定はない」が8%、「現在働いているが、今後仕事をやめる予定である」が6%であった。
- 年齢別には、全ての年代で「現在働いていて、今後も働き続ける」の割合が最も多いが、50歳上では「現在働いていないし、今後も働く予定はない」の割合が大きく増加傾向であった。
- 子どもの数別に見ると、4人以上の回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別で見ると、未就学児の年次(0～3歳)では「現在働いていないが、条件等が合えば働きたい」が49%と最も多く、小学校高学年年次(小4～小6)では「現在働いていて、今後も働き続ける」が83%と最も多かった。
- 配偶者(夫)の就労状況別に見ると、自営業では「現在働いていて、今後も働き続ける」が76%と最も多かった。
- 配偶者(夫)の勤務形態別に見ると、日勤のみ、フレックスタイム制は回答者数が少なくばらつきがあるが、就労状況による大きな差はみられなかった。



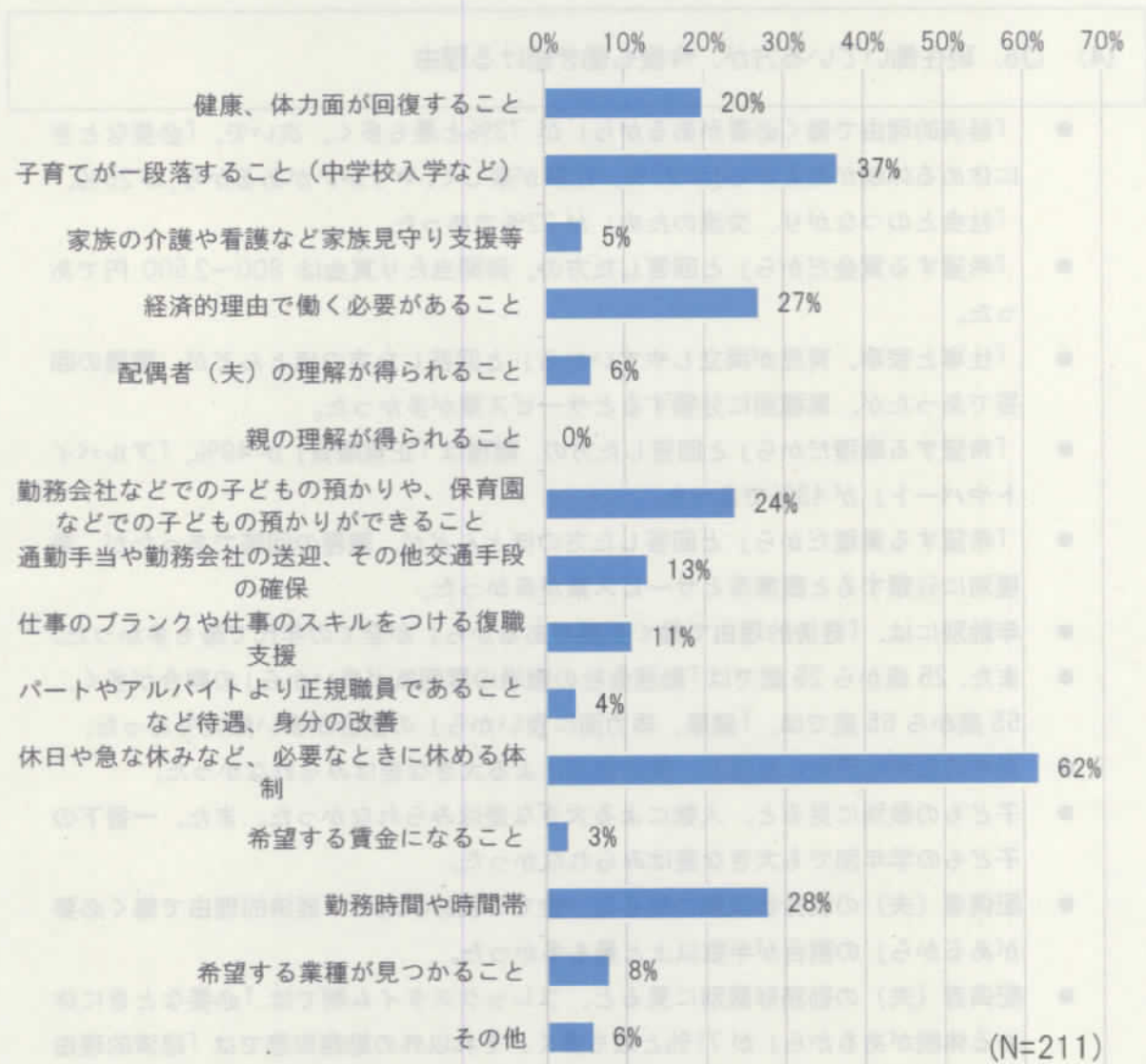
(2) Q4. 現在働いておらず、今後も働く予定のない理由

- 「健康、体力面で不安」が53%と最も多く、次いで、「家族の介護や看護」が23%、  
「経済的に働く必要がない」が22%、「子育てに専念したい」が17%であった。
- 「希望する賃金でない」と回答した方の、時間当たり希望賃金は800~900円であった。
- 「希望する業種がない」の回答者数は2件で、業種の回答はなかった。
- 年齢別には、18歳から54歳では、回答者数が一桁で回答にばらつきがみられるが、今後も働く予定のない理由は「健康、体力面で不安」が最も多い傾向であった。
- 子どもの数別に見ると、4人以上の回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別では、回答者数が少なく傾向はみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、会社員では「健康、体力面で不安」が46%と最も多く、公務員では「子育てに専念したい」が45%と最も多かった。就労状況による大きな差はみられなかった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、日勤のみ、交代勤務では「健康、体力面で不安」が47%、50%と最も多かった。



(3) Q5. 現在働いていない方が、今後働くための条件や理由

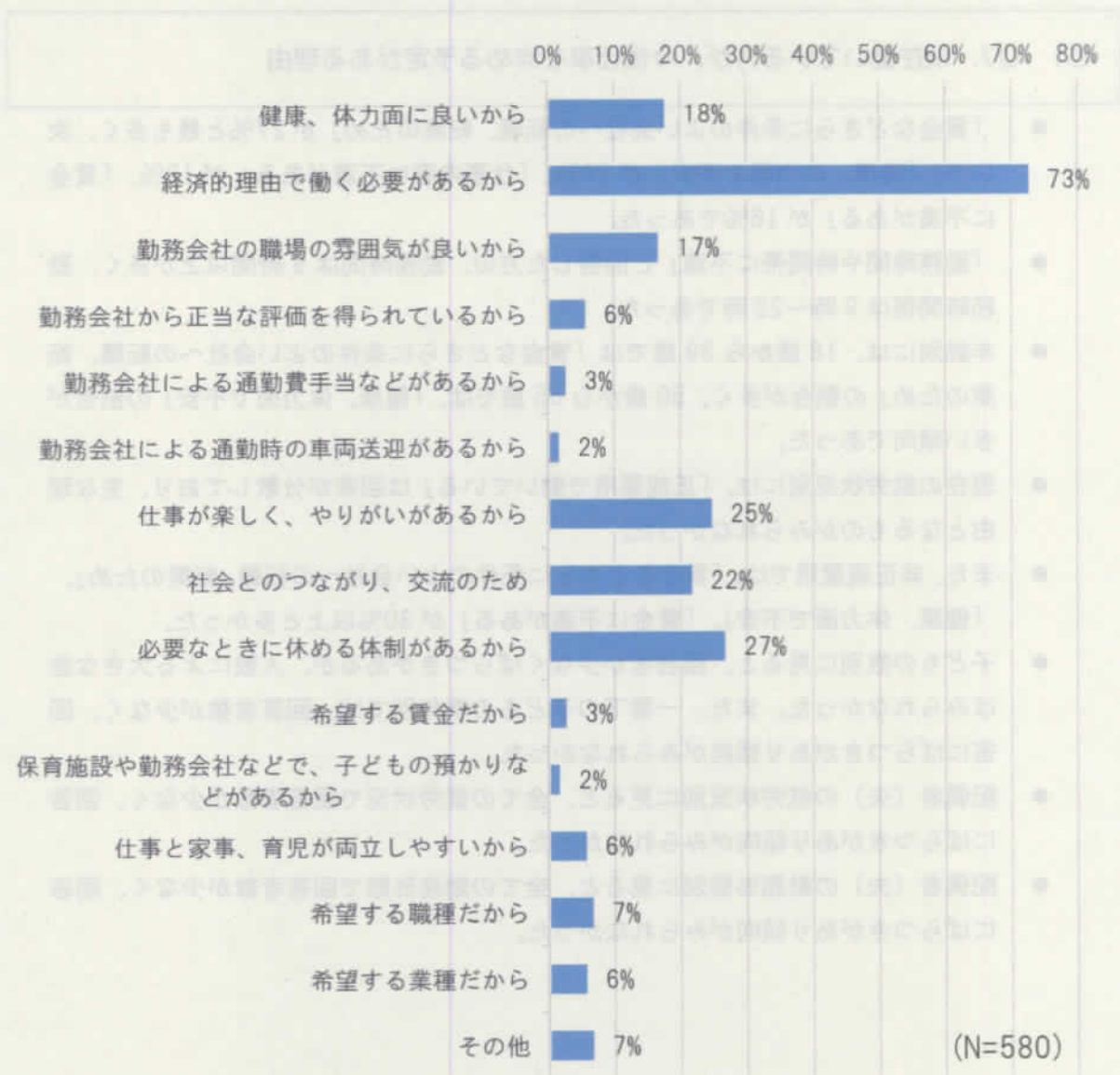
- 「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が62%と最も多く、次いで、「子育てが一段落すること（中学校入学など）」が37%、「勤務時間や時間帯」が28%、「経済的理由で働く必要があること」が27%、「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」が24%、「健康、体力面が回復すること」が20%であった。
- 「希望する賃金になること」と回答した方の、時間当たり希望賃金は800～1,000円であった。
- 「勤務時間や時間帯」と回答した方の、平均希望勤務時間は5時間まで、平均希望勤務時間帯は9時～14時であった。
- 「希望する業種が見つかること」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、職種の分類で見ると事務系が多かった。
- 年齢別には、「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が全ての年代で最も多かった。
- また、25歳から44歳では「子育てが一段落すること（中学校入学など）」「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」の割合が多く、50歳から65歳では、「家族の介護や看護など家族見守り支援等」の割合が多かった。
- 子どもの数別に見ると、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別で見ると、出産予定から小学校高学年年次（小4～小6）までは「子育てが一段落すること（中学校入学など）」が半数前後と多く、出産予定では「勤務会社などでの子どもの預かりや、保育園などでの子どもの預かりができること」が回答者数は少ないが80%と最も多かった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」の割合が6割以上と最も多かった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、夜勤のみの回答はなく、それ以外では「休日や急な休みなど、必要なときに休める体制」が6割以上と最も多かった。





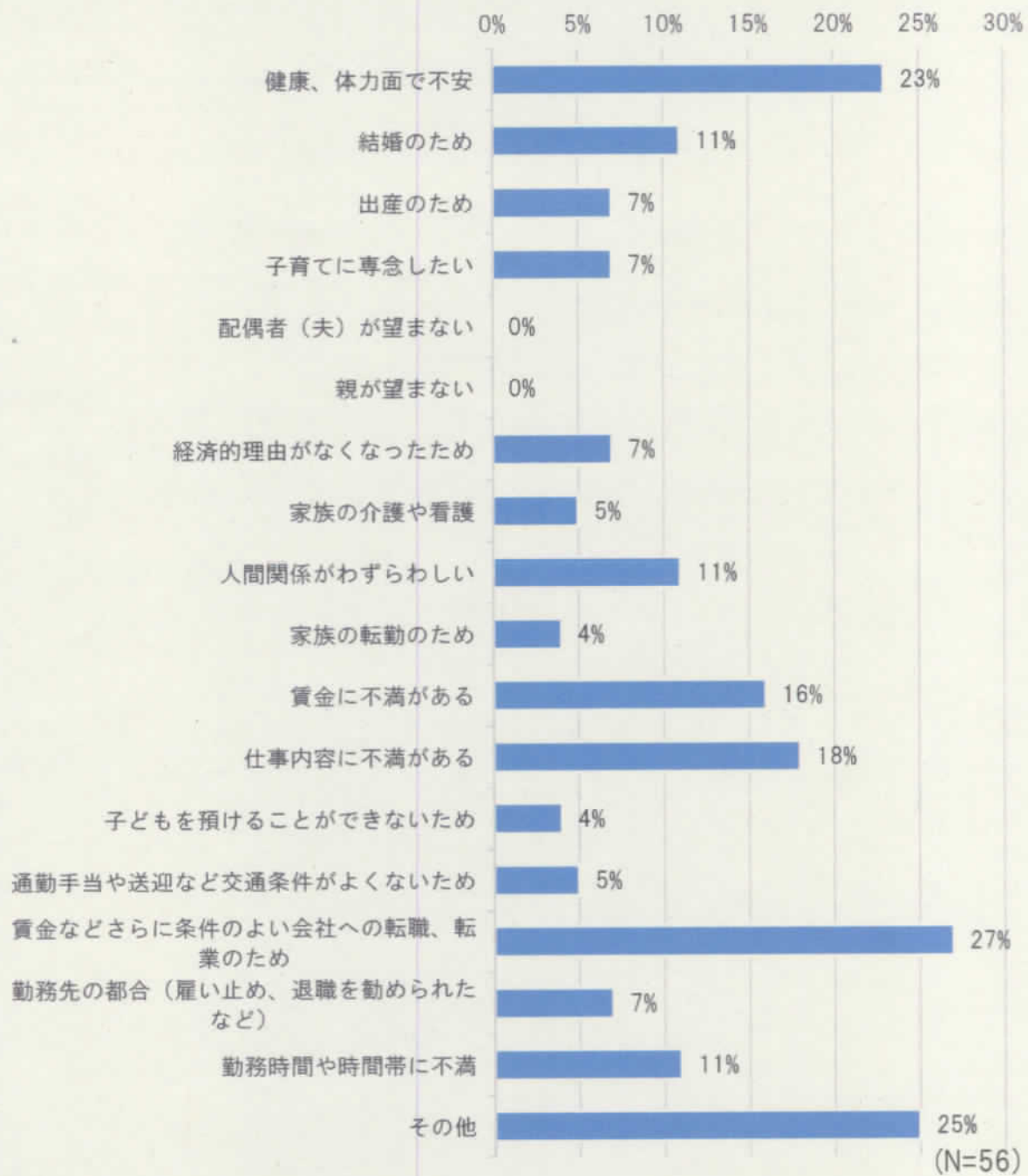
#### (4) Q6. 現在働いている方が、今後も働き続ける理由

- 「経済的理由で働く必要があるから」が73%と最も多く、次いで、「必要なときに休める体制があるから」が27%、「仕事が好き、やりがいがあるから」が25%、「社会とのつながり、交流のため」が22%であった。
- 「希望する賃金だから」と回答した方の、時間当たり賃金は800~2,500円であった。
- 「仕事と家事、育児が両立しやすいから」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、業種別に分類するとサービス業が多かった。
- 「希望する職種だから」と回答した方の、職種は「正規職員」が49%、「アルバイトやパート」が43%であった。
- 「希望する業種だから」と回答した方のほとんどが、職種の回答であったが、業種別に分類すると医療系とサービス業が多かった。
- 年齢別には、「経済的理由で働く必要があるから」が全ての年代で最も多かった。
- また、25歳から29歳では「勤務会社の職場の雰囲気が良いから」の割合が多く、55歳から65歳では、「健康、体力面に良いから」の割合が多い傾向であった。
- 現在の就労状況別に見ると、就労状況による大きな差はみられなかった。
- 子どもの数別に見ると、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別でも大きな差はみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で「経済的理由で働く必要があるから」の割合が半数以上と最も多かった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、フレックスタイム制では「必要なときに休める体制があるから」が71%と最も多く、それ以外の勤務形態では「経済的理由で働く必要があるから」が7割前後と最も多かった。



(5) Q7. 現在働いている方が、今後仕事を辞める予定がある理由

- 「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」が27%と最も多く、次いで、「健康、体力面で不安」が23%、「仕事内容に不満がある」が18%、「賃金に不満がある」が16%であった。
- 「勤務時間や時間帯に不満」と回答した方の、勤務時間は9時間以上が多く、勤務時間帯は9時～22時であった。
- 年齢別には、18歳から39歳では「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」の割合が多く、50歳から65歳では、「健康、体力面で不安」の割合が多い傾向であった。
- 現在の就労状況別には、「正規雇用で働いている」は回答が分散しており、主な理由となるものがみられなかった。
- また、非正規雇用では、「賃金などさらに条件のよい会社への転職、転業のため」、「健康、体力面で不安」、「賃金に不満がある」が30%以上と多かった。
- 子どもの数別に見ると、回答者が少なくばらつきがあるが、人数による大きな差はみられなかった。また、一番下の子どもの学年別では、回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。
- 配偶者（夫）の就労状況別に見ると、全ての就労状況で回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。
- 配偶者（夫）の勤務形態別に見ると、全ての勤務形態で回答者数が少なく、回答にばらつきがあり傾向がみられなかった。



## 「恵庭市公式 facebook」及び 「えにわまちナビ」の開設について

市政情報や暮らしの情報など、市の各種情報を市内外に広く発信するため、これまでの情報発信手段である「広報誌」「ホームページ」「地域FM」「メール配信サービス」に加え、新たに facebook（フェイスブック）の活用や、市が発行する地図をインターネット上で一元化するなど、新たな方法により情報の発信・共有を進めていきます。

### 1. 「恵庭市公式 facebook」の開設

インターネット上での情報の伝達に優れ、スマートフォンにも対応している「恵庭市公式 facebook」を導入し、各種情報を発信します。facebook を活用することにより、情報の広がり（拡散性）や常時携帯しているスマートフォンでの情報伝達（即時性）などが期待できます。

導入にあたっては、まず情報発信する課を限定し試行的に運用し、その結果を検証しながら、全庁的に運用していきます。

#### 1) 提供情報

市政情報（各種施策、イベントなど）

#### 2) 今後のスケジュール

6月～7月 試行的に運用開始

8月 ホームページ検討委員会で、発信内容などについて検証  
検証結果を基に、引き続き運用

## 2. 「えにわまちナビ」の開設

地方創生先行型交付金を活用した事業として、市民生活における暮らしの情報を充実させるためICT（情報通信技術）を活用し、市で現在発行している公共施設、飲食店、子育て施設、観光施設などのマップを地図データに一元化し、スマートフォンにも対応する幅広いニーズに応じた利用ができるマップ「えにわまちナビ」を作成し、公開しました。

### 1) 掲載したマップの情報

防災ガイドブック、えにわめぐりマップ、ecoバスマップ、恵庭遊マップ、恵庭市子育てマップ、恵庭カフェMAP、恵庭のパンとスイーツMAP、恵庭のピザ・パスタMAP、恵庭アイスMAP、恵庭まちじゅう図書館参加店Map

### 2) URL

<http://eniwa-machinavi.jp/>

(恵庭市ホームページのトップページからもリンクしています)



## 事項 ふるさと納税「えにわ花子さん愛情寄付」制度拡充に伴う実施状況

## 1.目的

ふるさと納税「えにわ・花子さん愛情寄付(H20年～)」の受入を高めるため、さらには、この制度を活用して、恵庭で生産された特産品等の産品を「返礼品」として活用することで、経済の域内循環を高め、地域の活性化を促進することを目的に、返礼品を贈呈する制度に拡充した「ふるさと納税推進事業」を本年4月1日より開始しました。

## 2.実施状況

## (1) 新たな寄付申し込み方法等を導入

制度拡充に合わせて、全国版のふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」を活用したインターネット申し込みと、寄付金の支払手続きを簡素化するため、新たに、同サイトと連携した「クレジット決済」を可能とするワンストップサービスの導入を図りました。

## (2) 返礼品の贈呈対象と区分

## (対象者)

恵庭市外の方で1回あたり1万円以上の寄附者(法人・団体を除く)を対象に返礼品を贈呈。  
※寄付の申し込み毎に何度でも返礼品を贈呈します。

## (還元率と区分)

寄付金1万円に対する還元率を50%相当(※商品代に、消費税・配送費等の経費を含む)の返礼品を用意。特産品カタログ(市内19協力事業者34品目/セット)の中から、寄付金額の区分に見合う数(セット)を選択することができます。※1セット5,000円

◎1万円以上～2万円未満⇒1セット◎2万円以上～3万円未満⇒2セット◎3万円以上～4万円未満⇒3セット◎4万円以上～5万円未満⇒4セット◎5万円以上～⇒5セットの5区分を用意。

## (3) 4月の実施概要 (4/1～30)

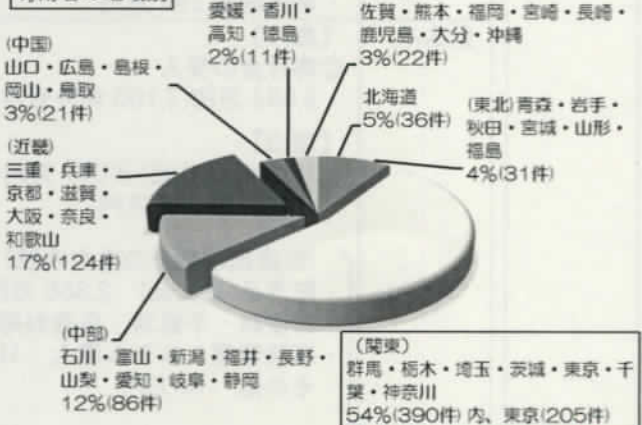
## ○寄付件数・金額等

区 分	件数	割合	金 額	備 考	
① 寄付申込者数(全体)	776		9,175,000	※未納者 55件 810,000円	
② 内、入金済寄付者数	721	100%	8,365,000	※金額別の寄付状況(721件) 1-2万円(635件) 635.5万円 88.1% 2-3万円(67件) 134.0万円 9.2% 3-4万円(13件) 39.0万円 1.8% 4-5万円(2件) 8.0万円 0.3% 5万円～(4件) 20.0万円 0.6%	
②の納入方法内訳	クレジット決済	654	90.7%		7,570,000
	郵便振込	59	8.2%		645,000
	銀行振込	5	0.7%		60,000
	現金	3	0.4%		90,000

## ○寄付者が恵庭市に希望する事業使途









区 分	件数	金 額
1 子育て支援事業	236	2,740,000
2 水と緑と花のまちづくり事業	86	940,000
3 青少年・文化振興事業	18	230,000
4 高等学校等入学準備金支給事業	16	190,000
5 スポーツ振興事業	18	190,000
6 社会福祉推進事業	36	400,000
7 農業振興事業	62	685,000
8 市町におまかせ	249	2,990,000
合 計	721	8,365,000

## 寄附者の地域別



実施状況

○返礼品の贈呈状況 (4/1-30) 総数 836 セット 4,180,000 円 ※( )セット数

(621)	(62)	(35)	(16)
 「サッポロビール クラシックセット」 南三栄商事	 「トマトジュース ・人参ジュースセット」 南余湖農園	 「道産米ゆめびりか ・う米蔵セット」 道央農業協同組合	 「モッツアレラとトマ トのカプレーゼセット」 寺田牧場
(14)	(12)		(8)
 「えにわ味付ジングスカン・ 豚塩ホルモンセット」 南三栄商事	 「北海道産放牧豚ウインナ ー・しゃぶしゃぶセット」 ファーマーズファクトリー(株)	 「甦った黒豆黒千石茶」 ゴールドバック(株)	 「サンマルコ食品 ・冷凍食品詰め合わせ」 サンマルコ食品(株)
○オルソン恵庭工場直送おつまみセット (7) ○ゆめちから生パスタ・パスタソースセット (7) ○北海道産青汁ピュアパウダー (7) ○島田農園「たつや自慢の米」(5) ○ICHIE 焼き菓子ギフトA(5) ○完熟トマト鍋スープ&ミネストローネセット (4) ○恵庭産スイートコーン 20本セット (4) ○いちえB釜めしセット (3) ○えにわっぱセット (3) ○ハスカップクッキーといろいろセット (3) ○ハスカップジャムセット (2) ○月寒あんぱん本舗恵庭工場オリジナルセット (1) ○ロズビイトモコビューティーセット (1)		○えびすかぼちゃお菓子ギフトセット (1) ○えにわの恵みセット (1) ○恵庭産3種野菜詰め合わせセット (1) ○ナチュラルケア美容ジェルセット (1) ○小ばちゃん特製ザンギセット (0) ○いちえA釜めしセット (0) ○ハスカップクッキーとコーヒーセット (0) ○ICHIE 焼き菓子ギフトB (0) ○JAオリジナルギフトセット (0) ○余湖さん家の季節の野菜と加工品セット(春)(0) ○余湖さん家の季節の野菜と加工品セット(夏)(0) ○余湖さん家の季節の野菜と加工品セット(秋)(0) ○余湖さん家の季節の野菜と加工品セット(冬)(0)	

(見込)

○今後の事業見込み

区分	経費内訳	説 明
当初	【歳入】 ◎寄付金の受入 ・3,351 万円(2,520 件⇒月平均 210 件) 【歳出】 ・記念品(返礼品) 1,675 万円 ・事務経費 293 万円	
見込み	【歳入】 ◎寄付金の受入 ・8,083 万円(7,100 件⇒月平均 590 件) 【歳出】 ・記念品(返礼品) 4,041 万円 ・事務経費 545 万円 ( ※(歳出増額分の主な内訳) ・記念品(返礼品) 2,366 万円 ・郵便料・手数料・広告料等 128 万円 ・事務管理システム導入 108 万円 ・その他 16 万円 )	○4月の寄付者総数は776件で推移したが、熊本地震等の影響により、申込み件数の落込みが想定される。 ○しかし、制度拡充後、予想以上に全国各地から恵庭市のまちづくりへの応援寄付金が寄せられおり、「返礼品」や手数料、郵便料など関連費用の増額が必要な状況になっている。 ○さらには、事務量の増加に対応する「ふるさと納税管理システム」の導入など、新たな経費が発生することから係る事業経費の増額を、6月第2回定例会の中で補正予算を計上したい。